一般質問

第３回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

公明党

高瀬千鶴子議員

質問1 **特定健診・がん検診の受診率向上の取り組み**

特定健診・がん検診のセットでの受診推進に向け「オプトアウト方式」（※１）を導入してはどうか。

答弁 本市は医療機関が多い特性を生かして様々な検診方法を採用しているが、当該方式を含めさらに受診率向上の取り組みを検討していく。

質問2 **市長の熊本城ホールを核とした誘致・市のＰＲ活動**

熊本城ホールを核とした、これからの誘致・ＰＲ活動等、市長としてのトップセールスについての見解は。

答弁 熊本城ホールの特性を先頭に立ってアピールし、イベント等を誘致することで、本市が九州の文化の発信地となるよう努める。

令和自民

田中　誠一議員

質問1 **震災に伴う液状化被害後のインフラ整備は**

道路の拡幅や用水路のふた掛け、歩道整備等のインフラ整備について、どのような施策を講じていくのか。

答弁 用水路のふた掛けを含めた道路整備は、地元や関係者と協議を行い、液状化対策工事と連携しながら詳細設計、工事を実施していく。

質問2 **２つの世界スポーツ大会後のスポーツ振興策**

大会後の盛り上がりを一過性のものとしないよう、本市のさらなるスポーツ振興につなげていく取り組みは。

答弁 整備・改修した施設の有効活用、スポーツ機運の醸成など、国際大会で得られた様々な成果を今後のスポーツ振興につなげていく。

自民党

小佐井賀瑞宜議員

質問1 **地方行政の在り方について**

国の財政と地方自治体の財政の違いを踏まえ、地方財政の課題や今後の目指すべき姿をどのように考えるか。

答弁 今後も国・県等の有利な財源を最大限に活用し、自主財源の涵養などの取り組みを進めることにより、健全な財政運営に努める。

質問2 **消費税率改定を踏まえた商工事業者への支援**

消費税の税率改定に伴い生じる様々な問題で苦慮する小規模事業者に対し、どのような支援策を展開するのか。

答弁 今後も引き続き、商工団体や国、県等関係機関と連携し、事業者の不安を解消できるよう取り組んでいく。

市民連合

山内　勝志議員

質問1 **新市民病院の開院にあたり市長の思いとは**

病院の最も重要な使命は医療の安全と質の向上である。開院にあたって市長が最も大切だと思うこととは何か。

答弁 「市民の生命と健康を守るために、安全で良質な医療を提供すること」である。体制の充実を図り、医療の安全と質の向上に努める。

質問2 **在宅医療、介護の強化のための従事者支援**

介護従事者の相談を受ける窓口の設置や文書作成、手続き等の簡略化に取り組み、負担軽減を図っては。

答弁 関係団体から意見聴取しながら、介護従事者の相談窓口は設置について研究し、市独自で改善可能な書類は負担軽減に取り組んでいく。

共産党

那須　　円議員

質問1 **国民健康保険料の引き下げと減免を**

収入のない子どもにかかる保険料を減免するなど、政令指定都市で最も高い国保料を引き下げるべき。

答弁 子どもにかかる保険料は、今後も軽減制度の創設等を国に対し要望していくが、国保料引き下げは本市の医療費が高い水準にあり困難。

質問2 **市庁舎建て替え問題**

「建て替えの必要はない」との意見を含め専門家の意見も分かれていること、検討中なことを市民に知らせるべき。

答弁 専門家の意見については精査を行い、市民の皆様にご理解いただけるよう、積極的な情報公開に努めていく。

おしえて ひごまる

オプトアウト方式（※１）…複数の検診を同日実施するセット検診を基本とすることで、検診項目の選択肢をなくす方法。不要な検診のみ申込時に伝えることで手続き等の負担感を軽減し、検診受診を促進する手法である。

平成30年度決算の概要

平成30年度における熊本市の一般会計決算は、歳入が3,883億円（前年度比マイナス266億円）、歳出が3,780億円（前年度比マイナス247億円）となりました。

歳入と歳出を単純に差し引くと103億円の黒字の計算になりますが、翌年度へ繰り越すべき財源が43億円あり、差し引いて考えると、実質収支60億円の黒字となりました。この黒字は、令和元年度に繰り越され、歳入の一部となります。

一般会計・特別会計

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
一　般　会　計	3,882億5,941万円	3,779億8,752万円	102億7,189万円
特　別　会　計	2,033億8,761万円	2,010億4,993万円	23億3,768万円
合　計	5,916億4,702万円	5,790億3,745万円	126億957万円

企業会計

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
病院事業会計	45億9,237万円	70億7,566万円	△24億8,329万円
水道事業会計	134億7,552万円	108億5,527万円	26億2,025万円
下水道事業会計	203億7,453万円	181億9,617万円	21億7,836万円
工業用水道事業会計	533万円	453万円	80万円
交通事業会計	22億8,619万円	27億1,929万円	△4億3,310万円
企業会計合計	407億3,394万円	388億5,092万円	18億8,302万円